Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#B02

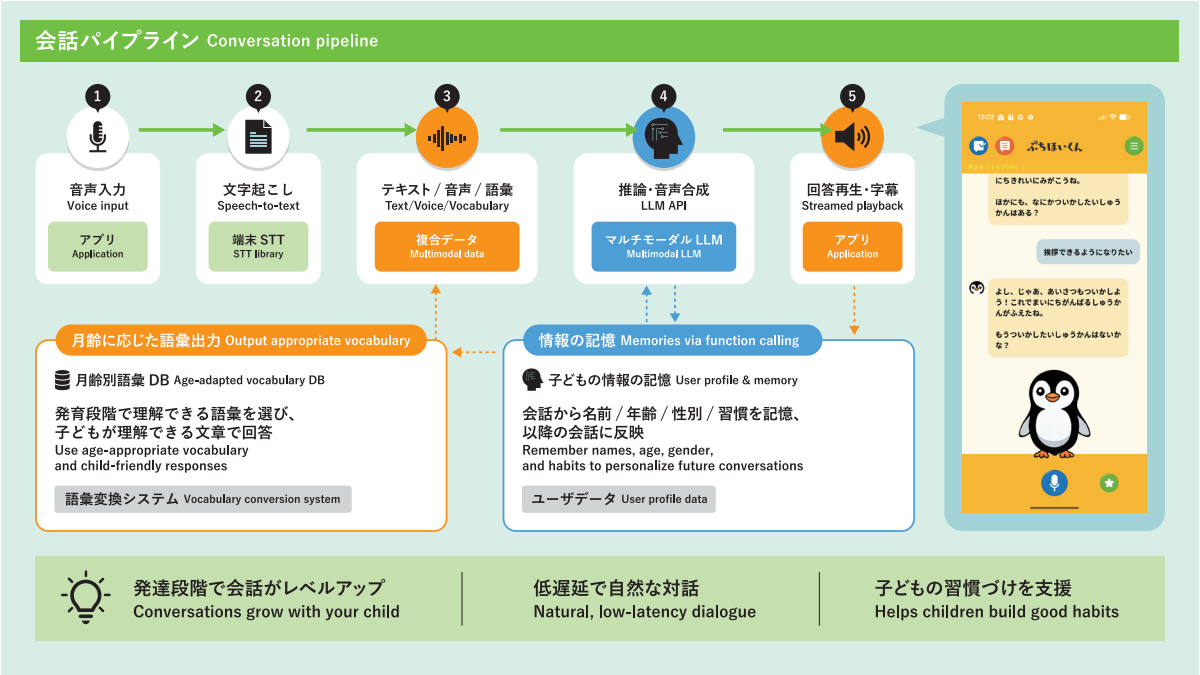
#教育の公平性#デジタルインクルージョン

語彙DBを用いた未就学児向け対話システム

子どもが理解できる単語のみで話す月齢適応型対話を実現し、自然な対話から習慣定着を促進します

技術課題・ゴール

一般的なLLMは出力の語彙制御が難しく、未就学児にとって理解が難しい表現が応答に含まれる場合があります。
本システムでは、月齢別語彙DBとLLMを連携させ、子どもの発達段階に応じた語彙・表現で応答を生成するアプローチを採用しました。
その子が理解できる言葉のみで対話することにより、習慣づけをはじめとする行動変容の促進までを最終的なゴールとします。



技術ポイント

要素技術

・月齢に応じた語彙制御：月齢別語彙DBとLLMを連携させ、子どもの発達段階に応じた語彙・表現で応答を生成する技術
・情報の記憶・パーソナライズ：対話を通じて子どもの情報を記憶し、個性や成長に合わせて出力を最適化する技術

市中技術差異点

・一般的なLLMは出力制御が限定的ですが、本技術は会話内容に応じて語彙の動的制御を可能
・市中サービスは年齢帯区分が中心、本技術は月齢段階に応じた語彙提供が可能

適用ビジネス/ユースケース

コミュニケーションサービス

未就学児向け習慣づけサポートアプリ：スマートフォン上のキャラクターが、その子の月齢で理解できる言葉で声掛け・対話を行い、挨拶や歯磨きなどの生活習慣の定着を支援。子どもの行動変容を促すことで、保護者の育児負担を軽減します。

出展組織
株式会社NTTドコモ プロダクトマーケティング本部